





屋久島町営船 フェリー太陽の概況

屋久島町 財産管理課 船舶係

船舶の変遷

宮之浦～口永良部・島間航路

船舶名	就航年等
太陽丸 	昭和47年12月28日 口永良部～宮之浦に就航 昭和48年4月5日 宮之浦～島間を延伸 総トン数52t ※太陽国体開催の記念もあり「太陽丸」に決定
第2太陽丸 	昭和57年5月1日 就航 総トン数199t
フェリー太陽	平成9年6月13日 就航 総トン数408t 平成16年2月2日 波の侵入を防ぐため改造 総トン数499t

フェリー太陽主要々目(建造時)

1. 主要寸法等

長さ(全長)		53.02m
長さ(登録)		46.30m
長さ(垂線間)		46.00m
幅(型)	←平成16年に改造し、499トンに	10.50m
深さ(型)		3.80m
総トン数		408トン
燃料油タンク		40.26kℓ
清水タンク		16.03m ³
旅客定員		100名
速力	公試最大	16.5ノット
	航海	15.7ノット
最大搭載車両能力	乗用車9台 または、中型バス2台+乗用車3台	
資格		JG沿海区域

2. 機関関係

主機関	ダイハツディーゼル6DKM-26(L)	
	1800ps×720R/M	2基
プロペラ	かもめFPP×4翼	2基
補機関	ヤンマーディーゼル6HAL2-DTN	2基
	271ps×1200R/M	
発電機	大洋電機TWY31C	2台
	AC225V×225KVA×1200R/M	
機関監視装置	データロガ	1式
	日本無線電気サービス	

3. 甲板機械

航海計器	トメキック 4T-M	1台
揚錨機	内田油圧 5T×18M	2台
係船ウインチ	内田油圧 3T×30M	4台
荷役クレーン	南星 0.95T	1台
車両リフター装置	内田油圧 15TONf	3台
サイドスラスタ	かもめプロペラ 3TONf	1台
空調装置	ダイキン	6台

4. 無線装置

レーダー	古野電気(株) FR1425	1台
カラーGPSプロッタ	古野電気(株) GP-3100	1台
音響測探機	古野電気(株) FCV-291	1台
GMDSS設備	古野電気(株)	1式

5. 特殊装置

衛星放送受信装置	新日本製鐵	1式
監視モニターテレビ装置	特機システム電機	1式
機関室CO ₂ 消火装置	川重防災	1式
リモコン式探照灯	大洋電機3KW	1台
空冷式冷凍冷蔵庫	ホシザキ電機1521ℓ	1台

6. 電装工事

星光電機

7. 内装工事

長崎船舶装備

8. 監理

長崎船舶コンサルタント

建造費 6億7,700万円

旅客定員

一等客室(航海船橋)	(座席)	20名
二等客室(航海船橋)	(椅子席)	25名
二等客室(船首楼甲板)	(椅子席)	7名
二等客室(船首楼甲板)	(座席)	31名
二等客室(上甲板ロビー)	(椅子席)	7名
二等客室(上甲板喫煙室)	(椅子席)	10名
合計		100名

臨時旅客	(船首楼甲板) (座席)	18名
	(航海船橋甲板) (椅子席)	32名

乗組員数 6名

搭載車輛 中型バス(4T積トラック)×2台 乗用車×5台

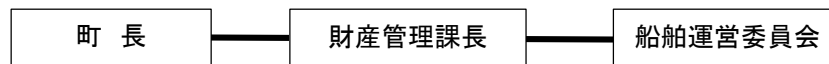
航行区域 沿海区域

運航体制の概要

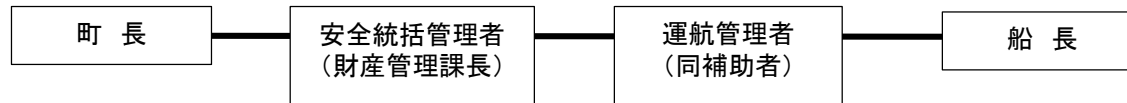
航路の運航管理は、屋久島町長の下で財産管理課が行う体制となっている。

就航船舶「フェリー太陽」の乗組員は、平成28年10月1日現在において、10名（甲板部6名、機関部2名、臨時船員2名）となっている。

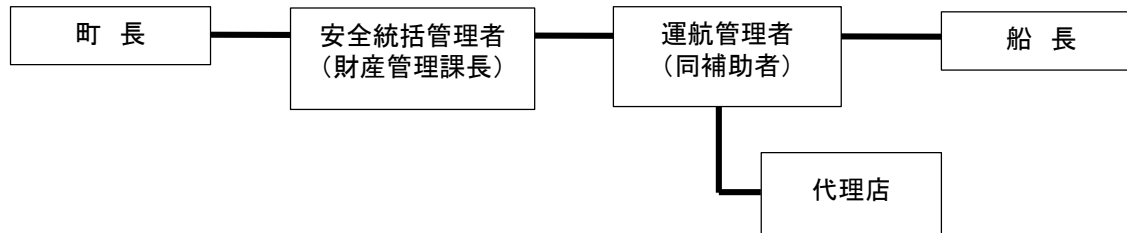
■ 事務運営管理組織



■ 運航管理組織図



■ 運航に必要な情報の収集及び伝達系統図



運航職員構成

配 置	職 名	現 資 格	人 員
甲 板 部	船 長	3級海技士（航海）	1名
	一 等 航 海 士	4級海技士（航海）	1名
	一 等 航 海 士	4級海技士（航海）	1名
	二 等 航 海 士	4級海技士（航海）	1名
	甲 板 員		1名
	甲 板 員		1名
機 関 部	機 関 長	4級海技士（機関）	1名
	一 等 機 関 士	4級海技士（機関）	1名
臨 時 船 員	一 等 機 関 士	1級海技士（機関）	1名
	一 等 機 関 士	4級海技士（機関）	1名
合 計			10名

※ 甲板部4名+機関部（臨時船員を含む）2名で運航している

船舶画像



操舵室(ブリッジ)内設備(レーダー表示機等)



船尾



船尾(ランプウェイ)



車両搬出



コンテナ搬出



上下するリフトによる車両搬出



下船風景(宮之浦港)



サンルーム2等椅子席(航海船橋甲板)



1等客室(航海船橋甲板)

船舶画像



サンルーム2等椅子席(航海船橋甲板)



喫煙室(上甲板)



2等客室(船首楼甲板)



男子トイレ(船首楼甲板)



2等客室(船首楼甲板)



2等椅子席(上甲板)



2等椅子席(上甲板)



航路及びダイヤについて

航路



フェリー太陽のダイヤ

口永良部

宮之浦

島間

偶
数
日

09:50	着 ←	08:10	発
10:30	発 →	12:10	着
		13:00	発 →
		14:05	着
		15:50	着 ←
		14:45	発

奇
数
日

		09:00	発 →	10:05	着
		11:50	着 ←	10:45	発
		14:40	着 ←	13:00	発
		15:10	発 →	16:50	着

口永良部

宮之浦

島間

港間距離

45km

30km

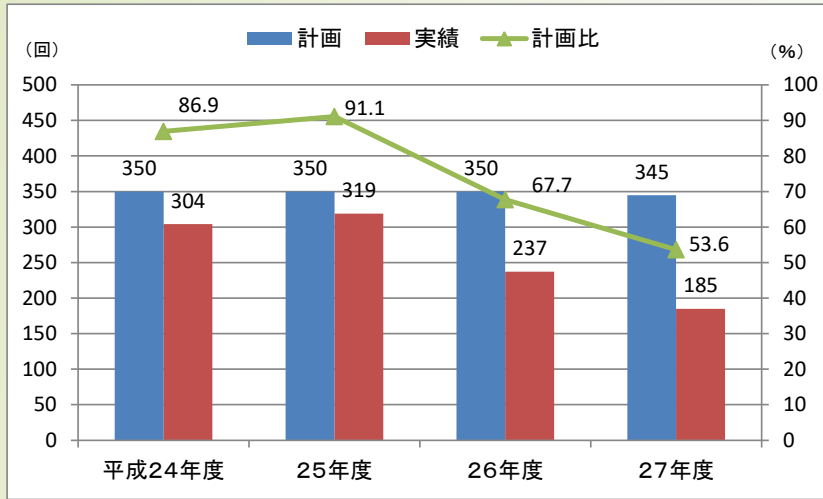
航海時間

1:40

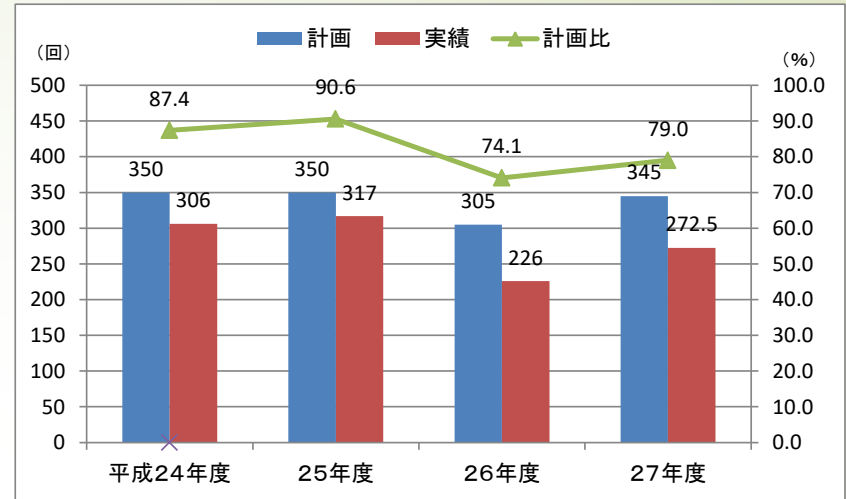
1:05

◆運航の状況（計画、実績、就航率）

【宮之浦～口永良部】



【宮之浦～島間】



【宮之浦～島間の欠航状況】

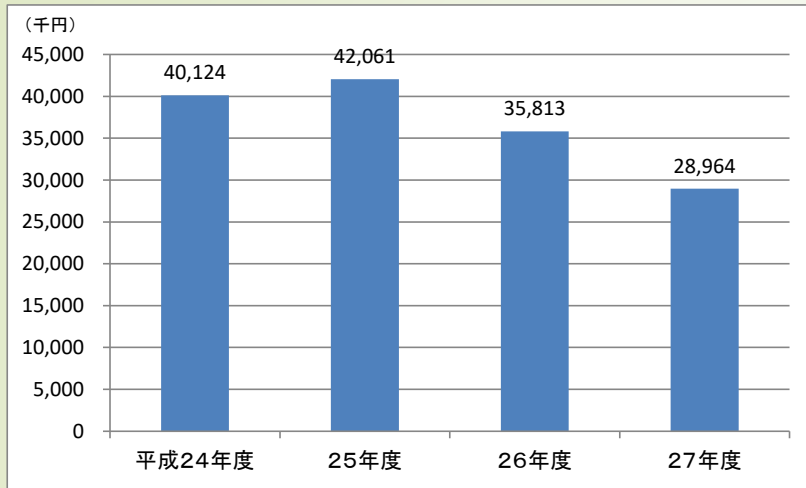
※平成24年度、平成25年度は荒天や中間検査による欠航がみられたものの、計画航海数に対して運航実績の割合は9割と高かった。

※平成26年度は漂流事故により運休、平成27年度は新岳の噴火による全島民避難により、宮之浦港と口永良部島の区間は運休し、宮之浦港と島間港の間を臨時ダイヤで運航した。この結果、計画航海数に対する運航実績の割合は、平成26年度67.7%、平成27年度53.6%となった。

年度	区間	欠航日数又は回数							検査実施期日		
		荒天	入渠	機関故障	定期検査	中間検査	臨時検査	その他	定期	中期	臨時
27年度	宮之浦～口永良部	54	-	1	-	18	-	10	-	2月7日 ～ 2月24日	-
	宮之浦～島間	54	-	1	-	28	-	10	-	-	
26年度	宮之浦～口永良部	37	45	-	-	31	3	4	-	2月5日 ～ 3月7日	7月2日 ～ 7月4日
	宮之浦～島間	37	45	-	-	31	3	4	-	-	-
25年度	宮之浦～口永良部	24	-	-	-	17	-	6	-	2月4日 ～ 2月20日	-
	宮之浦～島間	25	-	-	-	17	-	6	-	-	-
24年度	宮之浦～口永良部	38	-	-	-	14	6	5	-	3月3日 ～ 3月16日	6月15日 ～ 6月20日
	宮之浦～島間	35	-	-	-	14	6	5	-	-	-

航路の利用実績

【運賃収入の推移（旅客・手荷物・自動車航送・貨物）】

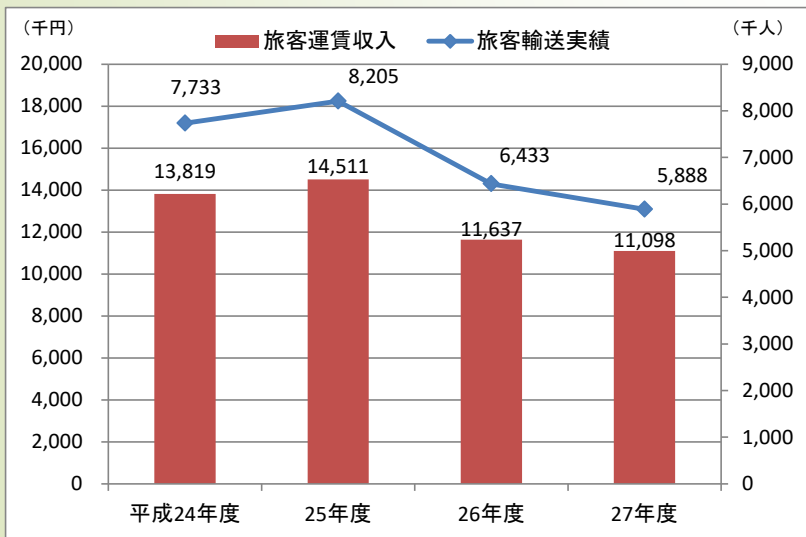


(単位:千円、%)

	平成24年度		25年度		26年度		27年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
旅客運賃収入	13,819	34.4	14,511	34.5	11,637	32.5	11,098	38.3
自動車航送運賃収入	19,273	48.0	20,586	48.9	17,459	48.8	13,666	47.2
貨物輸送運賃収入	6,865	17.1	6,729	16.0	6,548	18.3	4,040	13.9
手荷物運賃収入	167	0.4	235	0.6	169	0.5	160	0.6
合計	40,124	100.0	42,061	100.0	35,813	100.0	28,964	100.0

- ★海難事故や新岳の噴火に伴う運休から、平成26年度、平成27年度は運賃収入が減少。
- ★運賃収入の内訳をみると、自動車航送運賃収入が全体の5割、旅客運賃収入は4割をそれぞれ占めている。

【旅客輸送実績】

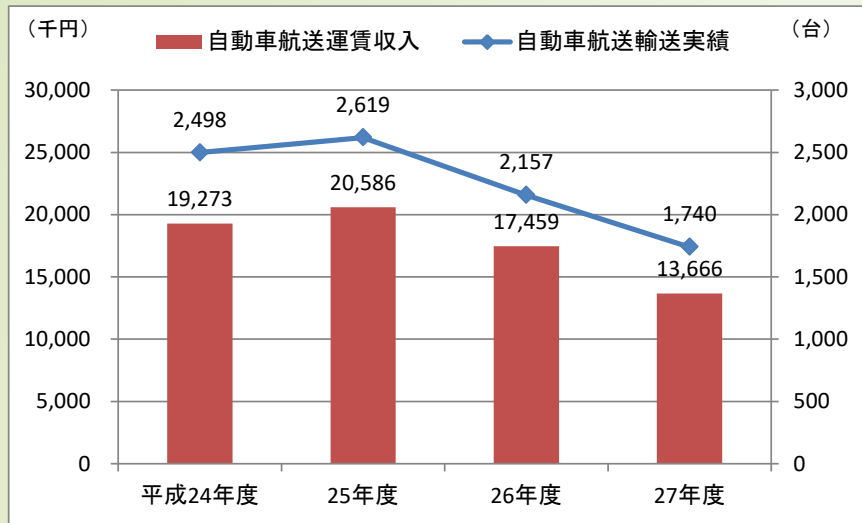


(単位:人、%)

	平成24年度		25年度		26年度		27年度	
	旅客数	構成比	旅客数	構成比	旅客数	構成比	旅客数	構成比
口永良部←宮之浦	2,350	30.4	2,466	30.1	2,068	32.1	1,326	22.5
口永良部→宮之浦	2,430	31.4	2,435	29.7	2,008	31.2	1,406	23.9
島間←宮之浦	1,297	16.8	1,414	17.2	916	14.2	1,368	23.2
島間→宮之浦	1,557	20.1	1,791	21.8	1,354	21.0	1,756	29.8
口永良部←島間	49	0.6	48	0.6	43	0.7	21	0.4
口永良部→島間	51	0.7	53	0.6	45	0.7	12	0.2
合計	7,733	100.0	8,205	100.0	6,433	100.0	5,888	100.0

- ★旅客数は、平成25年度は8,205人であったが、平成27年度は5,888人となった。
- ★平成25年度の旅客数を区間別にみると、宮之浦－口永良部が往復で4,901人（構成比59.8%）、宮之浦－島間が3,205人（同39.0%）となった。

【自動車航送実績】

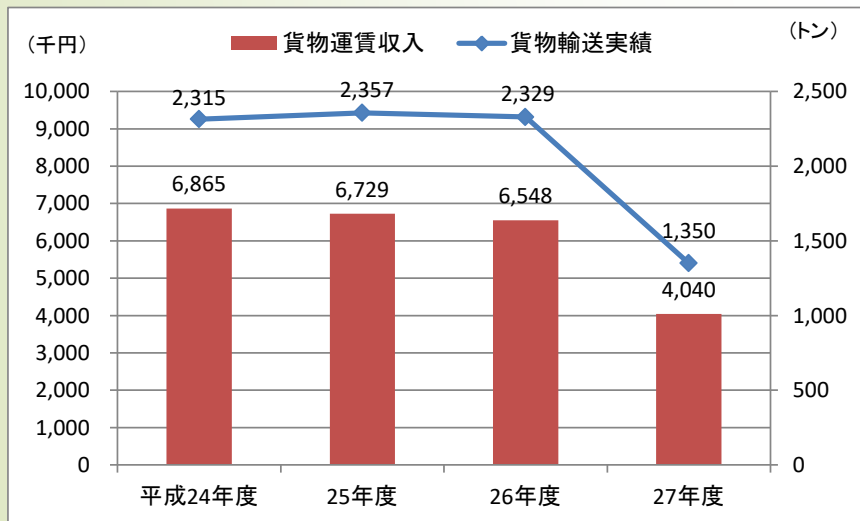


(単位:台、%)

	平成24年度		25年度		26年度		27年度	
	輸送実績	構成比	輸送実績	構成比	輸送実績	構成比	輸送実績	構成比
口永良部←宮之浦	621	24.9	691	26.4	612	28.4	351	20.2
口永良部→宮之浦	621	24.9	661	25.2	603	28.0	357	20.5
島間←宮之浦	611	24.5	611	23.3	450	20.9	526	30.2
島間→宮之浦	599	24.0	612	23.4	454	21.0	486	27.9
口永良部←島間	19	0.8	16	0.6	19	0.9	11	0.6
口永良部→島間	27	1.1	28	1.1	19	0.9	9	0.5
合計	2,498	100.0	2,619	100.0	2,157	100.0	1,740	100.0

- ★自動車航送台数は、平成25年度は2,619台であったが、平成27年度は1,740台となった。
- ★平成25年度の自動車航送台数を区間別にみると、宮之浦－口永良部が往復で1,352台（構成比51.6%）、宮之浦－島間が1,223台（同46.7%）となった。

【貨物輸送実績】

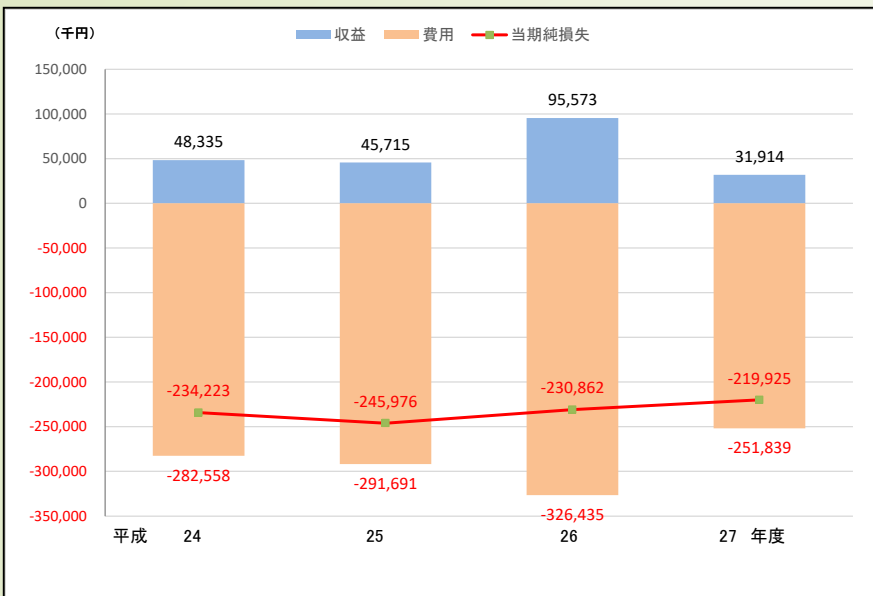


(単位:トン、%)

	平成24年度		25年度		26年度		27年度	
	輸送実績	構成比	輸送実績	構成比	輸送実績	構成比	輸送実績	構成比
口永良部←宮之浦	1,161	50.2	1,199	50.9	1,201	51.6	560	41.5
口永良部→宮之浦	773	33.4	740	31.4	847	36.4	433	32.1
島間←宮之浦	163	7.0	109	4.6	112	4.8	134	9.9
島間→宮之浦	120	5.2	300	12.7	160	6.9	209	15.4
口永良部←島間	12	0.5	3	0.1	7	0.3	1	0.1
口永良部→島間	86	3.7	5	0.2	3	0.1	13	1.0
合計	2,315	100.0	2,357	100.0	2,329	100.0	1,350	100.0

- ★貨物輸送実績は、平成25年度は2,357トンであったが、平成27年度は1,350トンとなった。
- ★25年度の貨物輸送実績を区間別にみると、宮之浦－口永良部が往復で1,939トン（構成比82.3%）、宮之浦－島間が409トン（同17.3%）となった。

航路収支について



★ 運航収入を運航費用が大幅に上回り、毎年2億円を超える赤字を計上しており、これを国庫補助金、鹿児島県の補助金で補っている。

★ 平成26年度は、船舶事故に伴い船舶修繕費が1億2千万円と大幅に増加する一方で、船舶保険金5,600万円が営業雑収入に計上され、収益及び費用ともに増加した。

★ 燃料潤滑油費は、燃料油価格の低下から、大きく減少している。一方、船舶修繕費は平成27年度が7,500万円となり、船員費と同程度まで増加している。

	平成24年度 (H23.10.1~ H24.9.30.)	平成25年度 (H24.10.1~ H25.9.30.)	平成26年度 (H25.10.1~ H26.9.30.)	平成27年度 (H26.10.1~ H27.9.30.)	構成比
1. 収 益					
A 運 航 収 益	43,765	45,700	39,459	31,713	99.4
1. 旅 客 運 賃	13,845	14,511	11,637	11,098	34.8
2. 手 荷 物 運 賃	167	235	169	160	0.5
3. 小 荷 物 運 賃	0	0	0	0	0.0
4. 自 動 車 航 送 運 賃	19,273	20,586	17,459	13,666	42.8
5. 貨 物 運 賃	6,865	6,729	6,548	4,040	12.7
6. 郵 便 航 送 料	3,615	3,615	3,622	2,725	8.5
7. 雑 収 入	0	24	24	24	0.1
B 営 業 収 益	4,570	15	56,114	201	0.6
1. 航 路 付 属 施 設 収 入	0	0	0	0	0.0
2. 雑 収 入	4,570	15	56,114	201	0.6
収 益 計	48,335	45,715	95,573	31,914	100.0
2. 費 用					
A 運 航 費 用	269,552	278,109	299,160	237,007	94.1
1. 旅 客 費	2,241	2,246	2,338	1,510	0.6
2. 手 荷 物 取 扱 費	12	16	14	38	0.0
3. 小 荷 物 取 扱 費	0	0	0	0	0.0
4. 自 動 車 航 送 取 扱 費	2,106	2,223	2,063	1,581	0.6
5. 貨 物 取 扱 費	494	506	587	331	0.1
6. 郵 便 取 扱 費	0	0	0	0	0.0
7. 燃 料 潤 滑 油 費	104,379	114,029	81,721	69,074	27.4
8. 養 缶 水 費	226	228	164	196	0.1
9. 港 費	7,059	7,086	8,779	9,523	3.8
10. 雑 費	948	896	856	1,011	0.4
11. 船 費	152,087	150,879	202,638	153,743	61.0
(1) 船 員 費	80,072	79,485	79,739	75,767	30.1
(2) 船 舶 備 品 費	1,060	1,036	744	744	0.3
(3) 船 舶 消 耗 品 費	1,590	1,951	696	1,198	0.5
(4) 船 舶 修 繕 費	68,698	67,491	120,628	75,102	29.8
(5) 雑 費	667	916	831	932	0.4
B 営 業 費 用	13,006	13,582	27,275	14,832	5.9
1. 保 険 料	1,804	1,867	1,996	2,436	1.0
2. 税 金	604	639	864	925	0.4
3. 利 子	223	0	0	0	0.0
4. 減 価 償 却 費	216	95	21	21	0.0
5. 賃 貸 (備 船) 料	539	536	13,457	548	0.2
6. 航 路 付 属 施 設 費	69	179	136	80	0.0
7. 店 費	9,551	10,266	10,801	10,822	4.3
費 用 計	282,558	291,691	326,435	251,839	100.0
3. 差 引 当 期 純 利 益 (純 損 失)	△ 234,223	△ 245,976	△ 230,862	△ 219,925	